

第 566 回 役員会 議事概要

- 1 日 時 令和 5 年 1 月 11 日（水） 9 時 00 分～10 時 10 分
- 2 場 所 Zoom 会議
- 3 出席者 構成員 7 名：
牛木学長，川端理事，坂本理事，澤村理事，末吉理事，西田理事，
塚本理事
陪席者 3 名：
富田特命理事，田代監事，逸見監事

4 議事概要の確認

第 565 回（令和 4 年 12 月 7 日）の議事概要が確認された。

5 審議事項

（1）令和 5 年度（2023 年度）における職員採用予定数の変更について

令和 5 年度（2023 年度）における職員採用予定数の変更について，資料 1 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

（主な意見及び質疑等）

- ・資料の 3 ページ目に「新たに発生した業務」という項目があるが，「新たに展開する業務」という記載にして，佐渡自然共生科学センターが拠点となって，共創 I P や全学の展開を進めていくというような表現になると良いと思う。
- ・ご指摘の通り，「展開する業務」としたほうが良いと思う。佐渡自然共生科学センターに佐渡の利用関係や佐渡キャンパス関係，医療関係などを含めた全てをまとめるというよりは，大学としてまとめた一部が佐渡自然共生科学センターであるというイメージであり，そういう意味では，事務業務は佐渡自然共生科学センターの事務というより，佐渡地区の事務という形にした方が良いと思う。

（2）五十嵐職員宿舎の跡地利用整備事業について

五十嵐職員宿舎の跡地利用整備事業について，資料 2 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

（主な意見及び質疑等）

- ・将来の物価の上昇等は必ず起きると思うが，その際の PPP / PFI の契約の履行の仕方について，物価スライド制のような文言として盛り込まれているのかお伺いしたい。
- ・契約内容については，今後進めていくことになるが，そのことも想定しておきたいと思う。
- ・令和 2 年 3 月に「新学生寮整備事業方針」が決まってから今までの仕事を確認できるスケジュールと，今後のスケジュールを 1 枚の工程表として資料に加え

てもらえると理解しやすいと思う。

- ・今回、ハードウェア側が形になってきたが、ソフトウェア側の構想についての資料を加えてもらえると、この後の話に繋がっていくと思う。
- ・このコンセッションについては、大学全体の中で、学生寮に付随したどういった施設を作るかという議論をしているところでもあるので、概算要求をするためには、そのあたりの整理もしていかなければならないと思う。

6 報告事項

(1) 令和4年度補正予算及び令和5年度予算案について

西田理事から令和4年度補正予算及び令和5年度予算案について、資料3に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・「成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標）」において、研究に関しては、伸び幅の項目を加えられたことで、二重にマイナスが出ており、非常に厳しい結果になってしまっている。本学での科研費の特徴が弱みとして出てきた形になっているが、上昇に転じないと今後も厳しい結果が続いてしまうと思う。財務部でも分析してもらうことにもなるが、改めて、研究推進機構からも部局に対して強いメッセージを出していかなければいけないと感じている。
- ・特に人文系などの科研費については、申請することを100パーセント以上にしていかなければならないし、英文の論文なども、評価になるような仕組みを探していくこともしないといけないと思う。
- ・「Web of Science」での数値は上がっているが、日本語の論文がそこに追いついてきてないというのが現状だと思う。
- ・共同研究についても、獲得状況が年度ごとに上下してしまう。ゆっくりと上がっていくのが良いのかもしれないが、複数年度契約をすればするほど上下し始めることになってしまう。
- ・複数年度契約の場合においても、最初の上下を乗り切れば、安定していくのではないかと思う。単年度契約にしてしまうと非常に脆くなってしまうので、分析結果次第ではあるが、これに関しては仕方がないのかと思う。
- ・今回も4項目が新たな指標として設けられているが、今後も新たな項目が追加されて行く可能性もあるかと思う。そういったことに対応していくためにも、本質的なところで強化をしていくことが大事であると思う。また、寄附金関係については、創立75周年記念事業などもあるので、各方面に向けて伸ばしていければ良いと思う。

(2) 令和5年度施設整備費補助金等について

西田理事から令和5年度施設整備費補助金等について、資料4に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑等)

- ・なし

7 その他

富田特命理事から医歯学総合病院にかかる医療事故について報告があった。また、「医師の働きたい病院TOP30（エリア毎の回答医師・病院数を考慮）」にて本学医歯学総合病院が22位にランクインした旨の情報共有があった。